

- 震災から9年が経とうとしている中、広域避難者については仮設住宅の供与が徐々に終了となり、今後、避難元に戻るのか、避難先で新たな住宅を探すのか、全く違う場所で新たに生活を始めるのか、悩ましい状況が続いている。
- 一方で、既に今度の住まいを決めた方の中には、都内でなく茨城県や千葉県、栃木県などのより福島に近いところに移る方が多く、避難者が広域に移動している状況も見られている。
- 個別には住まい、介護、仕事、子どもの教育など切実な課題は聞こえてくるが、あまりにも置かれている状況が違いすぎており、以前にもまして避難者の全体的な状況が見えにくくなってきている。
- また、各地に存在していた当事者団体も避難者数の減少や高齢化の問題もあり、参加者が減少、団体自体も減少傾向にある。
- こうした状況から、都県を超えて関東域で改めて避難者の実態を共有し、今後の避難者への関りについて検討すべく、ミーティングを開催した。

1 日時 2020年1月14日(火) 13:00~16:00(3時間)

2 場所 全水道会館 4階大会議室
(東京都文京区本郷1-4-1)

3 参加者数 27団体35名
(参加団体種別：県域支援団体、民間支援団体、
県行政(避難先・避難元)、
区市町村社協・ボランティアセンター、
専門職団体、生協、復興支援員)



4 内容

プログラム1 話題提供

<よりそいホットラインからの報告>

◆報告者 社会的包摂サポートセンター 遠藤智子さん

遠藤さんからは「電話相談から見る避難者が抱える課題の傾向」と題して、よりそいホットラインに寄せられる相談から避難者の現状と抱える課題について、事例も踏まえながらお話を頂きました。他の電話相談と比較して、広域避難者は30代の割合が高いこと、就業していない人の割合が高いこと、そして「いつも苦しい」と感じている人が多いことが報告されました。また、被災者は暴力やDVを受けた方からの相談と類似する点が多くあると指摘しました。

<当事者団体からの情報提供>

◆さんりくのつながり HAMANASU会 武田恒男さん

武田さんは、岩手県陸前高田市からの避難者として、東京で岩手のつながりを作りたいという思いから様々な動きをされてきました。東日本大震災の思い出の品返却会、平成30年7



月豪雨の写真洗浄、陸前高田市被災者のドキュメンタリー映画の上映会、これらの取組みを実施しながら、様々な岩手県をつなぐを東京の中で作り、これらのネットワークが広がってきている状況をご報告いただきました。

◆東日本大震災復興支援 松戸・東北交流プロジェクト 黄色いハンカチ

代表の方に来ていただく予定でしたが、体調不良により、連絡会 in 東京で取組みの説明を行いました。黄色いハンカチは、もともと松戸市に避難してきた方への支援を目的として始まりましたが、現在では、避難者の方が主体的に関わりながら、むしろその経験を活かして、松戸市での防災・減災を進める取組み（防災講座、防災井戸端会議など）を行っています。このような形で、避難者と地域とのつながりを作っている事例もあります。

プログラム2 各都県の団体による意見交換

プログラム2では、各都県の支援団体がグループ（6グループ）になり、避難者や当事者団体の状況、当事者のコミュニティ支援のテーマで意見交換を行いました。

- ・避難者数の増減
- ・当事者団体と支援団体とのつながり
- ・避難者からの個別相談の内容
- ・都県域を越えた避難者同士のネットワーク など

について、お話し頂きました。

各県とも避難者数は減少してきていること、当事者団体とのネットワークについても以前より脆弱になってきていることなどが共有されました。一方で、避難者が広域で移動していることを踏まえ、都県域を超えて支援団体がつながりあっていくことの重要性が共有されました。



5 参加者の声

- ・各都県の状況やつながりづくりについて、意見交換をしてお話を聞くことができ、貴重な時間となりました。
- ・発災から9年目に入る今、避難者同士のつながりというより、定住する方の地域とのつながりこそが、課題なのではないでしょうか。
- ・どこにもつながっていない方が困った時、そこにいる存在になれるように、ということを中心に活動したいと思いました。
- ・つながりは大切ですが、高齢化などによる個別対応も発生しています。両車輪でどうやっていくか、ということのを来年度の課題としたいと思いました。
- ・県内の支援団体との会議でも、今回のミーティングを参考に、ネットワークづくりについて考えたいと思いました。

6 主催 広域避難者支援連絡会 in 東京

7 問合せ 広域避難者支援連絡会 in 東京

（事務局）東京ボランティア・市民活動センター 広域避難担当

電話 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 メール kouikihinan@tvac.or.jp

以上